

# ふえーぬ風

発行 〒901-1105  
 沖縄県南部農業改良普及センター  
 南風原町字山川517  
 TEL:(098)-889-3515  
 FAX:(098)-835-6010



## 「美ら卵養鶏場」全国担い手育成総合支援協議会会長賞受賞 (全国優良経営体表彰事業 6次産業化部門)

### 【全国優良経営体表彰事業とは】

自らの農業経営を改善し、地域農業の振興・活性化に取り組むなど、意欲と能力のある担い手の一層の経営発展を図るため、昭和61年度より実施されてきました。表彰の対象となる主な取組は、①経営改善部門、②生産技術革新部門、③6次産業化部門、④販売革新部門、⑤働き方改革部門、⑥担い手作り部門の6部門となっています。

### 【6次産業化部門の趣旨】

食品産業や多くの農業者等と緊密に連携して実施される農業生産と一体となった加工販売や、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進する6次産業化の取組において、優れた功績をあげた者に対して表彰を行うものです。沖縄県では13年ぶりの受賞です。



【賞状伝達式】前列中央が美ら卵養鶏場経営主 諸見里氏  
 左：長元所長 右：下地農政企画統括監



とれたて卵とケーキの店  
**美ら卵養鶏場**<sup>®</sup>  
 CHURATAMA YOUKEIJO

### 【美ら卵養鶏場の経営の特徴・評価された項目】

- 卵の生産から加工、販売まで一貫して行う基盤を構築させ、実践している。
- 養鶏業界の大規模化が進む中で小規模経営体でも継続的な経営を持続していくために、自社ブランド卵の生産により付加価値を付け、量販店等との差別化を図ることで、市場流通価格の2～3倍の取引が可能となっている。
- 経営の多角化と収益確保を目的として6次産業化に取り組み、地域の農産物を活用した商品など年間100種類以上開発し、消費者ニーズに合わせた販売を行っている。
- 店頭販売以外にも、ネット販売、海外輸出、芸能人やプロスポーツチームとコラボし販路を拡大している。等

### 【賞品の過去の表彰歴】

- 平成28年 おきなわ島ふ〜どグランプリ2016「濃厚たまごプリン」最優秀賞受賞
- 平成29年 おきなわ島ふ〜どグランプリ2017「ぴよぴよシフォン」優秀賞受賞
- 平成30年 おきなわ島ふ〜どグランプリ2018「たまごパウンドケーキ(キャラメル)」最優秀賞受賞  
 (園芸技術普及班：長山)

# 糸満市マンゴー産地の活性化（地域農業振興総合指導事業）

南部農業改良普及センターでは、令和元年度より糸満市において、マンゴーの生産振興に取り組む「地域農業振興総合指導事業」を実施しており、令和3年度が事業最終年度となります。

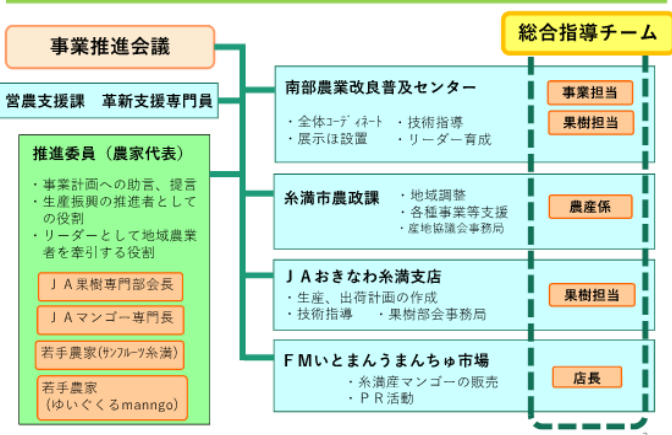
事業では農家意見交換会をふまえ、産地全体で取り組む活動方針を「基本技術の定着」と「販売戦略」とし、推進委員（生産農家代表）と関係機関が連携し、マンゴーの生産振興による地域農業の活性化に取り組んでいます。

## 果実品質調査にてデータ収集

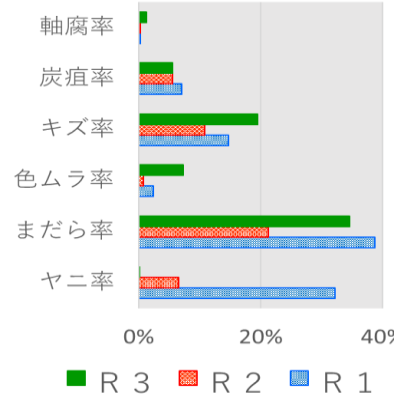
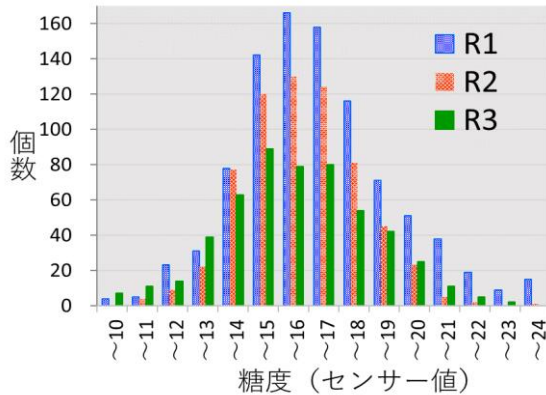
産地の果実品質を把握するため、令和元年度より3カ年間、FMいとまんうまんちゅ市場にて化粧箱入りマンゴーの糖度、等級、障害果の状況、重量、価格について総合指導チームで調査を実施しています。糖度については非破壊モバイル糖度計を用い測定しました。

マンゴーの糖度はセンサー値で平均15.4～16.6度と高い傾向で、障害の内訳は「まだら」が3年連続最多でした。調査結果は農家説明会でフィードバックし、詳細なデータは総合指導チームで共有し、事業の取り組みや課題検討に繋げる事としています。

## 活動推進体制



果実品質調査の実施状況



## マンゴー勉強会



果実品質調査で対策が求められていたマンゴーの「まだら果」について、県内の発生状況や南部地区の事例、対策案について説明を行いました。

## 産地リーダー育成視察研修

産地リーダーを対象に農業研究センター名護支所と県立農業大学校を視察し、マンゴーの栽培試験状況やプロジェクト活動について紹介されました。



## 現地技術組立実証展示ほ

マンゴー炭そ病の発生状況について、出蕾前から袋掛け前までの期間に炭そ病防除のスケジュール散布の有・無による発生状況を比較しました。



## 産地の課題解決行動計画について意見交換

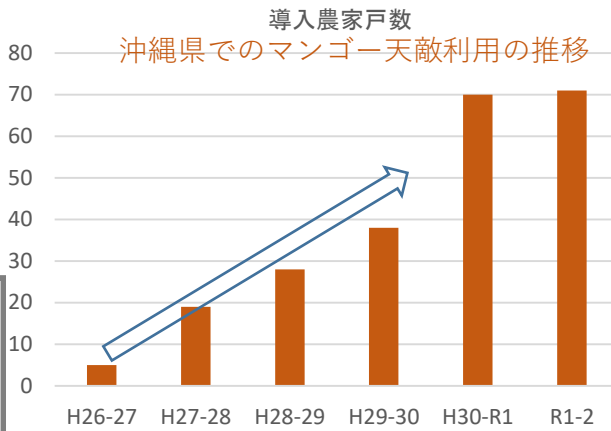


事業終了後の「産地の課題解決行動計画」を策定するため、「SWOT分析」による意見交換を行いました。意見を整理し、計画に反映させます。

# マンゴーにおけるスワルスキーカブリダニを利用した チャノキイロアザミウマ防除の普及拡大

## スワルスキー導入の取り組み

沖縄県南部地域では、マンゴー栽培においてチャノキイロアザミウマの防除が課題となっており、年々天敵製剤スワルスキーの導入が増えてきています。



小さいので発見が難しい、世代が回るのが早い。薬剤が効きにくい。抵抗性がつきやすい。



## R3年度の要改善事例・失敗事例

R3 スワル導入農家14戸について巡回指導を行った結果、チャノキ被害果率が5%以下だったグループに対し、開花期間の途中にチャノキ発生によりレスキュー防除やリセット防除したグループ、被害果率が5%以上発生したグループは、スワル導入前にチャノキが確認されていました。間伐樹の新芽や雑草等も観察し、**最終防除できちんとチャノキをゼロにすることがとても重要だ**と言えます。

また、スワル導入後は今まであまり被害のなかった害虫の発生が見られることも多いです。秋頃から防除を始めて、農薬の使用時期やスワルの導入時期などがある程度イメージしましょう。



## R4年もスワル導入始まっています

今期は、沖縄県農業生産・経営対策事業を活用して、南部広域で4戸の農家で実証展示ほを設置しています。出蕾状況を見ながら、1月から順にスワルスキーを導入して、チャノキイロアザミウマ、スワルスキーの頭数調査を行っています。調査結果については改めてお知らせします。



# トルコギキョウ灰色カビ病について

## 灰色カビ病による立ち枯れの発生が確認されています！

### 【特徴】

- 20℃前後、高湿度で発生しやすい
- トマトなどの野菜やキクなどの花き類にも広く感染する
- 風媒による伝染
- 各育成ステージで発生し、葉、茎、蕾、花弁に発病する
- 開花期に多湿状態が続くと一晩で一斉に花シミが生じる

### 【対策】

- 過湿にならないよう換気を行う
- 発病葉、発病株を早期発見、抜き取り廃棄する
- 登録農薬の散布



ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍
ゲッター水和剤	1,000倍
ポリオキシソル水溶剤	2,500倍 等

※農薬を使用する際はラベルの確認を怠らないこと！



発病が進むと地際部などに灰色～淡褐色の粉状のカビが発生する。

# 「ミカンコミバエ」の侵入防止対策にご協力をお願いします

ミカンコミバエは、マンゴーやアセロラ等の果実や果菜類に寄生する大害虫で、かつて沖縄県でも生息していましたが、1986年に県全域から根絶しました。しかし、根絶後も、海外から風等による再侵入のリスクにさらされています。

県では、再侵入防止対策として、誘殺板（ミバエを誘引する薬剤と少量の殺虫剤を染み込ませたもの）を県全域の街路樹等に取り付け、防除を実施しています。

また、侵入警戒調査として、家庭菜園等で栽培されているマンゴー等寄主植物調査を、国・県・市町村・JAおきなわ等関係機関と連携して実施しています。

調査及び防除へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。



成虫



幼虫



※直接触れないで下さい

### 【被害果実】



グアバを食害する幼虫



マンゴー



みかん

★卵からかえった幼虫（ウジ虫）が果実類（カンキツ・マンゴー・パイナップルなど）や果菜類（トマト・ピーマン等）を食害します！！

# 寒地型牧草利用のすすめ

## はじめに

沖縄県で永年利用される暖地型牧草は冬季に生産性が低下するため、周年を通した粗飼料の確保は重要な課題となっています。このため、寒地型牧草の栽培により冬季の収量を補完し、家畜の採食性に優れた自給粗飼料の安定生産を目指します。



## 1 暖地型牧草と寒地型牧草の特性

暖地型牧草は、25～30℃が生育適温で、耐寒性は弱く、10～15℃以下で生育を停止することが知られています。一般に寒地型牧草と比べNDF含量は高く、乾物消化率は低いことから、家畜の採食性は低いと言われています。

寒地型牧草は、5℃前後から生育を開始し、15～22℃が生育適温で、耐暑性は弱く、高温・乾燥条件下では生育停止や夏枯れも見られます。

## 2 イタリアンライグラスの特性

イタリアンライグラスは初期生育が早く、低温下での生育が優れた草種です。栽培期間中の気象条件にもよりますが、2～3回程度刈取りできます。また、出穂の早晩性、耐病性、耐倒伏性、多収性、硝酸態窒素蓄積が少ないなど多様な品種が育成されています。

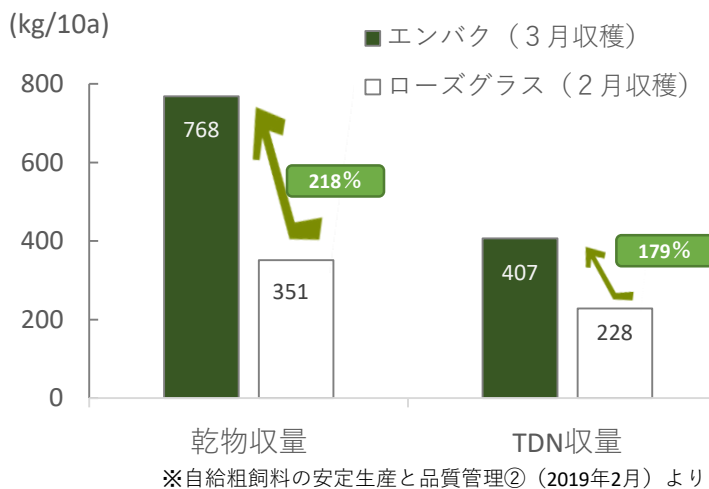
沖縄県では、「いもち病」や「冠さび病」などに対する耐病性があり、早生～極早生品種の利用を推奨しています。

## 3 エンバクの特性

エンバクは一年生の植物で、吸肥性は強く、土壌の適応範囲はpH4～8と広く、初期生育の早い飼料作物です。

近年、沖縄県では「冠さび病」に対する耐病性があり、耐倒伏性に優れた超極早生品種が利用されています。

調査事例として、エンバク（乳熟期）とローズグラス（出穂始め）の乾物収量とTDN収量を比較したところエンバクの方が、それぞれ2.18倍、1.79倍高い結果となり、暖地型牧草の生育が停滞する冬季の粗飼料確保に有効な手段であることが分かります。



## 4 今年度の取組事例紹介

一括交付金事業を活用して、エンバクの品種「スーパーハヤテ隼」と「ウルトラハヤテ韋駄天」の2品種について新規の取組として南城市と糸満市の4戸の農家で実証しています。播種は11月～12月に実施し、収穫は2月以降を予定しています。



(地域特産振興班 具志)

# 無料GPS/GISほ場管理技術の紹介について

さとうきび作業受委託の最適化のため、GIS管理技術の活用について、普及センターにて無料アプリを用いた利用技術事例をまとめました。

「筆ポリゴンデータ」(農林水産省)を加工して作成

	A	B	C	D	E	F
1	ほ場名	地番	面積	品目	H30生産量	...
2	Aほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	へちま	〇〇 t	
3	Bほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	ゴーヤー	〇〇 t	
4	Cほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	きび	〇〇 t	
5	Dほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	ゴーヤー	〇〇 t	
6	Eほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	キク	〇〇 t	
7	Fほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	カボチャ	〇〇 t	
8	Gほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	山羊	〇〇 t	
9	Hほ場	南風原町〇〇〇〇	〇〇 a	山羊	〇〇 t	

●ほ場名：Dほ場  
 ●地番：南風原町〇〇〇〇〇  
 ●面積：〇〇a  
 ●品目：ゴーヤー  
 ●H30生産量：〇〇 t  
 ●R1生産量：〇〇 t  
 ●R2生産量：〇〇 t  
 ●...  
 ●(無限に)

↑エクセル等表計算ソフトとの連動機能があり、各種関数やマクロが使用可能

←ゴーヤーほ場は赤、他品目はピンクで色分け設定時(更には〇t以上は網掛け等も可能)

←GPSにより、ほ場の半分のみ等の作業進捗も分かる

←『吹き出し』表示も設定可能

## 【言葉の説明】

- GPSとは・・・人工衛星を利用した現在位置把握システム。
- GISとは・・・パソコンやスマホで操作できる地図。拡大/縮小しても文字等が見やすく、図や緯度経度位置に(今回は各ほ場毎)に情報を登録できる。

## 【今回のアプリ等について】

- アンドロイド`スマホ用GPS・ウインドウズ`用GIS(インストール不要)アプリは共に無料。
- ほ場一筆毎形状データも、農水省の航空写真からのAI判断公開データが無料。

## 【活用例について】

- ほ場毎に地番・面積・品目・収量・施肥/農薬・時期/量等を登録でき、その色分けも自由。またエクセル等表計算ソフトとの連動機能により検索/抽出/選択/編集/統合、更には関数による請求書等帳票もできる。
- GPS軌跡を日時も含めて転写でき、作業効率等が見える化。更に速さを計算することで、作業したほ場のみを塗り潰すことができる。
- 数十筆を管理または作業受託する農業法人等に有効。
- さとうきびでは、OCRデータや、市町村税務課等の地籍図データとの連動も可能。
- 社内外共有、スマホのグーグルマップへの転送も可能。

## 【アプリ名・操作方法、他について】

- 担当あて電話、訪問してください。

(地域特産振興班 新里、佐藤)

# 離島情報 (北大東村)

## 1. さとうきび生産状況

令和2/3年期さとうきび生産量は27,724tと高収量となり、今期計画は23,239tとなり、6期連続の2万t越えとなります

増産に向けたこれまでの取り組み

### ①土づくり

▶夏植え前の堆肥、緑肥（クロタラリア）、粉碎した石灰岩による酸度矯正等が定期的に行われ、地力増強が図られています。

### ②農薬散布

▶定植初期から後期まで除草作業の徹底や発生初期での病虫害防除が行われています。

### ③かん水

▶新植栽培や一部株出し栽培で点滴チューブを活用したかん水が行われており、降水量が少ない時期干ばつ被害の低減や生育増進を図っています。

土づくりを主とした栽培管理が継続的に行われることで現在の安定的な生産量に結びついています。

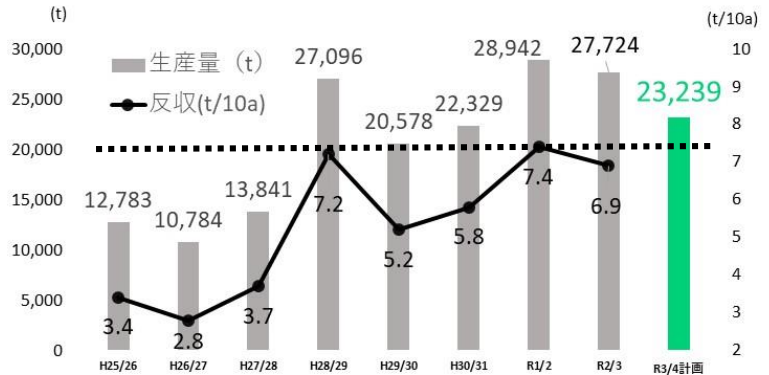


図1. 北大東村生産量推移



図2.作業風景

## 2. バレイショ

令和3年度は降雨や強風の影響も少なく、病害対策が行われたことで生育が良好となっています。

2月頃からは収穫予定となります。

### 今年の取り組み

1. 肥料別増収検討試験

2. 品種比較試験

近年、生産量の低下がみられることから増収検討試験や病害対策として抵抗性品種の検討なども行なっています。

## 3. 特産品紹介

島内では月桃加工場が運営されており、消臭剤から石鹸まで幅広い加工品に使用される原材料の生産・出荷が行われています。



月桃加工施設



消臭スプレー・石鹸

(北大東村駐在 佐久本)

# 65万円の青色申告特別控除

## を受けるためには条件があるってご存知ですか？

令和2年分以後の所得税については青色申告特別控除の適用要件が改正されています。

65万円の青色申告特別控除の適用を受けるためには、複式簿記での記帳、貸借対照表と損益計算書の添付、期限内に申告といったこれまでの条件に加え、e-Taxで申告、または電子帳簿保存を行う必要があります。

適用要件 青色申告 特別控除額	複式簿記(正規の簿記の原則で記帳)	貸借対照表と 損益計算書を添付	期限内に申告(注1)	e-Taxで申告 又は電子帳簿保存
65万円	○	○	○	○
55万円	○	○	○	—
10万円	(簡易な記帳)	—(注2)	—	—

①又は②のいずれかが必要です。

### ①e-Taxを利用

### ②電子帳簿保存を利用

※電子帳簿保存法の改正により、令和4年分の所得税確定申告から、法定申告期限(令和5年3月15日)までに届出書を税務署に提出すればよく、税務署長の事前承認は不要となっています。

資料：国税庁HPより

注1 還付申告の場合も翌年3月15日までに提出が必要です。

注2 損益計算書の提出は必要です。

(普及企画班 前田)

## 表彰受賞報告 (花き)

### 沖縄県園芸拠点産地優良活動表彰 受賞

受賞者：南風原町花き拠点産地協議会

品目：ストレリチア

- 産地協議会が活発に活動していることで情報共有が円滑に行われている
- 立ち枯れ症状に対する原因の特定、対策技術の立証を行い、改善ほ場が増加傾向にある
- 県事業を活用し、苗増殖技術を確立、安定的なストレリチア苗供給体制整備を行っている

などが評価されました。



### 令和3年度花き産地活動表彰 おきなわブランド化貢献部門 受賞

受賞者：JAおきなわ豊見城支店 花卉生産部会

品目：洋ラン・トルコギキョウ・バラ

- 定期的な栽培講習会や現地検討会を実施し、栽培技術の向上に努めている
- 花と食のフェスティバルや国際洋ラン博覧会への出展
- 南部地区随一の産地であり、品質が統一され市場取引は高単価で安定している

などが評価されました。



(園芸技術普及班 普天間)